



感奮!雄志魂

雄志中学校だより 29年 2月号



〒943-0119 上越市下池部 707

Tel. 025-523-2404

URL <http://www.yushi.jorne.ed.jp/>

生徒会活動のまとめ ～第2回生徒総会・引継式～



2月14日(火)に第2回生徒総会が開かれ、今年度の生徒会活動の反省や来年度への提言などについて活発に話し合われました。今年度の生徒会は「個性輝く雄志魂～Let's share happy」のスローガンのもと、「楽しい生徒会」を目指して1年間活動してきました。

生徒会本部役員を中心に、全校生徒の心を一つにしようと体育祭での全校パフォーマンスや音楽祭での全校合唱など、これまでにない画期的な取り組みが行われました。雄志中学校生徒全体としてのまと

まりが実感できる場面がいくつもありました。また、体育祭の軍の活動を通して作り上げた絆を音楽祭など他の活動場面でも生かすことができました。質疑応答では、活動の成果を評価し、3年生に感謝する1, 2年生の気持ちや来年度は活動をさらに盛り上げていってほしいという3年生の気持ちが感じられるやりとりが交わされました。

生徒総会の後、生徒会の各委員会の「引き継ぎ式」が行われました。今年度の生徒会役員から来年度の生徒会役員へ委員会のファイルが手渡されました。新しいリーダーとなる2年生は緊張した面持ちでファイルを受け取り、改めて責任を自覚していたようです。3年生に感謝するとともに、来年度の生徒会役員と全校生徒のさらなる活躍を期待します。

先輩ありがとうございました ～3年生感謝の会～



2月24日(金)に3年生感謝の会が行われました。新しい生徒会本部が中心となって企画・運営を行い、お世話になった3年生に感謝の気持ちを表しました。図書委員会による3年間の思い出の写真のスライドショーでは、まだ幼さの残る自分たちの姿などに大きな歓声が上がりました。

その後、雄志中〇×クイズや1, 2年生によるフラッシュ・モブ(サプライズのダンス)、エールなど工夫を凝らした内容で大いに3年生を楽しませました。

また3年生からは学年全員で肩を組みながらの歌の披露や、一人一人がカードを持って組み合わせでメッセージをつくるパフォーマンスが行われ、最後に1, 2年生に向けてのエールで締めくくりました。歌も応援も1, 2年生を合わせたよりもさらに大きな声で、「さすが3年生」というすばらしい姿を見せてくれました。互いに気持ちの込められた、温かい雰囲気感謝の会となりました。

職業人に学ぶ

～1年生 偉人新聞作成に向けて～



1年生は総合的な学習の時間に取り組んでいる「偉人学習」のまとめとして、「偉人新聞」を作成します。新聞を作成するにあたり、新潟日報上越支社の記者高橋祐子さんから「読者の目を引く紙面作り」について、実技を交えてお話しいただきました。

お話の中で、実際の新聞を例にして、記事の配置や見出しの付け方の工夫などを、分かりやすく説明していただきました。その中で、今回は新聞のタイトルつけに取り組みました。「新聞のタイトルは、自分が取り上げる記事の内容と関わらせるとよい。」と

教えていただき、生徒達は自分が取り上げる偉人を思い浮かべながら楽しそうに考えていました。また、高橋さんが新聞記者を目指した理由についてもお話いただきました。どちらかという自分の考えを表に出す方ではなかった高橋さんですが、学生のとくに選挙に関わり、若者の投票率の低さを目の当たりにします。そのことを嘆いたところ、友人に新聞への投書を勧められ、その投書が新聞に載ったことをきっかけに、自分の考えを表現することのおもしろさや楽しさを感じて、新聞記者を目指したそうです。記者になって、初めて書いた記事は何回も書き直しを命じられ、400字程度の記事に5～6時間もかかったというエピソードも伺い、仕事の厳しさを知ることができました。

今回の授業を参考に、どんな新聞ができあがるか、とても楽しみです。

雄志中同窓生としての自覚 ～同窓会入会式～



2月24日(金)に雄志中学校同窓会入会式が行われ、3年生62名が同窓会員として加わるようになりました。同窓会長の松縄省吾様より卒業のお祝いとこれからの生き方についてのお話がありました。

これから世の中を生きていく上で身に付けてほしいこととして、2つのこととお話しされました。一つ目は「リベラル・アーツ」(人間が身に付けるべき教養・知識)について、学校や教科書では学べない事も自分から進んで学んでほしいということ。二つ目は「クリティカル・シンキング」(批判的思考法)について、物事や情報を無批判に受け入れるのではなく、多様な

角度から検討し、論理的・客観的に理解することの大切さについてお話しされました。卒業を一週間後に控えた3年生は真剣に聞き入っていました。

今年度卒業する生徒の中からは、4つの小学校区ごとに幹事が選出されています。

「同窓会の一員として、雄志中学校がもっと良くなるようにかんばります。」・・・代表幹事の生徒が決意表明をした後、松縄同窓会長様より記念品として、卒業証書の筒が送られました。

中学校区のPTAの連携 ～PTA 東部ブロック連絡協議会～



2月17日（金）に第2回PTA 東部ブロック連絡協議会が高田の高陽荘を会場に行なわれました。この会は、中学校区のPTAの横の繋がりを深め、PTAが連携して中学校区の児童生徒の健全育成を図ることをねらいとしています。

今回は年間の主催行事の反省と次年度へ向けての改善点等について話し合いました。今年度雄志中は雄志杯の野球の主管校としてPTA 厚生部の皆さんを中心に準備、運営をしていただきました。平成29年度は雄志杯の総合幹事校となります。次年度も皆様からのご協力をよろしくお願いい

たします。

今年度、PTA 東部ブロック連絡協議会が主催した事業は以下の通りです。

5月27日（金） 第1回東部ブロックPTA連絡協議会（高陽荘）

6月27日（月） 講演会「川上善兵衛翁の生き方」

講師：岩の原葡萄園代表取締役社長 棚橋 博史 様（高士小学校 体育館）

7月10日（日） 東部ブロック親善球技大会「雄志杯」（雄志中学校 体育館 グラウンド）

2月17日（金） 第2回東部ブロックPTA連絡協議会（高陽荘）

*これまで2月に行ってきた「子どもフォーラム」は、類似活動の見直しと改善を通し、11月に小学校6年生と中学校1年生との交流を含む「心の輪をつくる会」を行うことで、発展的解消となりました。

輝く成果

実用数学技能検定合格者	3級（3年生1人）
歴史能力検定合格者	準3級 日本史（3年生1人）
	4級 歴史基本（2年生1人）
	5級 歴史入門（1年生1人）
第3回漢字検定合格者	4級（1年生2人） 5級（2年生1人 1年生2人）
第37回書写技能認定書初め会	会長賞（3年生3人 2年生1人 1年生4人）
*1年生は全員、2、3年生	優秀賞（1年生2人）
は希望者が応募	優（1年生10人 3年生2人）
	良（1年生38人）

3月の主な行事予定

1日(水)	3年生クリーン作戦 3年生公立高校入試事前指導	13日(月)	公立高校合格発表
2日(木)	卒業式練習 1・2年生 卒業式準備	14日(火)	後援会常任委員会・総会
3日(金)	第28回卒業証書授与式	20日(月)	春分の日
6日(月)	Webテスト(1・2年)	22日(水)	第4回学校運営協議会
7日(火)	公立高校学力検査 2年生修学旅行[～9日(金)]	23日(木)	公立高校2次学力検査
		24日(金)	公立高校2次合格発表 3学期終業式
		27日(月)	離任式

平成28年度学校評価（後期評価）の報告

2学期末に実施しました学校評価につきまして、評価結果がまとまりましたのでご報告いたします。また、同様の資料を学校運営協議会にも提示し、ご意見等をいただきましたので、併せてご報告いたします。

		↑ 前期より5ポイント 以上上昇			↓ 前期より5ポイント 以上下降
【生徒アンケート】 (肯定的評価の割合%の高い順)					
No	項目	1年	2年	3年	全校
1	係活動や給食当番、清掃活動で、助け合い、協力できた	96.2	100.0	100.0	98.8
	前期からの増減	-1.9	0.0	4.9	1.1
2	日常生活や学校行事を通して、集団の一員として、仲間と連帯感を高めることができた。	96.2	94.7	98.4	96.5
	前期からの増減	1.8	-1.8	3.3	1.1
3	体験活動(授業や行事を含む)のねらいを理解して学習(活動)に取り組むことができた。	96.2	94.7	93.4	94.7
	前期からの増減	-1.9	-1.8	0.0	-1.2
4	日常生活において、自分の人権だけでなく他の人権を守るために、よく考え、判断して行動するよう心掛けた。	94.3	93.0	95.1	94.2
	前期からの増減	-0.1	3.5	1.6	1.7
5	自分も相手も大切にしてい互いに意見を伝え合うことができた。	92.5	96.4	93.4	94.1
	前期からの増減	↓ -7.5	3.6	1.6	-0.6
6	生徒会目標達成に向けて、自分の役割を果たすことができた。	98.1	94.6	90.2	94.1
	前期からの増減	1.8	1.7	-3.3	-0.1
7	体験活動や地域貢献活動を通して、地域や社会と積極的に関わることができた	88.7	91.2	86.9	88.9
	前期からの増減	後期のみの評価			
8	雄志授業スタイル(学びの心得7箇条)を、実践できた。	92.5	86.0	85.2	87.7
	前期からの増減	↑ 5.4	1.8	↑ 11.5	↑ 6.3
9	体験活動(授業や行事を含む)を通して気づいたことや考えたことを、日常生活に生かすよう心掛けた。	83.0	94.7	82.0	86.5
	前期からの増減	↓ -9.6	↑ 5.3	4.9	0.5

10	総合的な学習で学んだことや体験したことを通して、自分の生き方について考えを深めることができました。	75.5	86.0	88.5	83.6
	前期からの増減	↓ -11.6	-1.8	4.9	-2.4
11	地域の一員として、地域行事や奉仕活動に参加した。	86.8	80.7	68.9	78.4
	前期からの増減	↑ 10.9	0.0	↓ -8.2	0.5
12	定期テストに向けて計画的に取り組むことができた。	67.9	77.2	73.8	73.1
	前期からの増減	↓ -6.1	↓ -7.0	↑ 14.8	1.0
13	毎日70分以上(1年)・80分以上(2年)・90分以上(3年)主体的に家庭学習ができた。	67.9	75.4	67.2	70.2
	前期からの増減	↓ -7.5	↓ -5.3	-4.9	↓ -5.8
14	学習したこと、体験したこと、道徳の授業で気づいたことや考えたことを家族に伝えることができた。	67.9	70.2	68.9	69.0
	前期からの増減	↓ -6.1	↑ 8.8	0.0	1.0

【保護者アンケート】

(肯定的評価の割合%の高い順)

No	項目	1年	2年	3年	全校
1	本校の教育目標は、お子様の成長に対する、保護者の方々の願いやご希望に合っていますか。	96.2	94.6	93.3	94.6
	前期からの増減	0.0	3.4	-0.1	1.0
2	お子様は、充実した学校生活を送っていると思われませんか。	94.3	92.9	90.0	92.3
	前期からの増減	-3.7	↑ 6.7	↓ -6.7	-1.2
3	お子様は、現時点で、ルールやマナーを守る意識が身についていると思われませんか。	86.8	91.1	91.7	89.9
	前期からの増減	↓ -5.7	1.4	-0.1	-1.4
4	本校は、よりよい学校づくりに、熱意をもって努力していると思われませんか。	92.5	83.9	91.7	89.3
	前期からの増減	-1.8	-0.6	1.5	-0.2
5	本校の教職員は、保護者の方々に誠意をもって対応し、ご意見・ご相談に応じていると思われませんか。	92.5	78.6	93.3	88.2
	前期からの増減	3.8	1.0	1.5	2.2
6	本校の教職員は生徒に温かく、また時には生徒のために厳しく、適切に接していると思われませんか。	84.6	82.1	90.0	85.7
	前期からの増減	↓ -9.7	3.2	↓ -5.1	-3.8
7	生徒たちの授業や学校行事での様子について、十分な情報が得られていますか。	86.5	83.9	83.3	84.5
	前期からの増減	↑ 9.1	↑ 6.3	3.0	↑ 6.0
8	生徒たちへの安全指導、不審者対策、緊急時の対応などについて、学校・保護者間の打ち合わせと協力体制は、十分であると思われませんか。	86.8	73.2	80.0	79.9
	前期からの増減	↑ 6.0	-0.5	1.3	2.3

9	雄志中学校の教育活動や推進状況に満足感をもっておられますか。	83.0	83.6	73.3	79.8
	前期からの増減	0.0	↑12.2	↓-6.7	1.7
10	お子様は、現時点で、歯磨きや十分な睡眠など基本的な生活習慣が身についていると思われませんか。	73.6	75.0	81.7	76.9
	前期からの増減	↑5.7	-0.9	1.4	1.9
11	お子様の適性や進路について、十分な情報が保護者に提供され、生徒・保護者を交えた相談が適切に行われていると思いませんか。	78.8	67.9	83.3	76.8
	前期からの増減	↑6.3	↑9.3	↑3.3	↑6.4
12	本校の重点的取組について、十分な情報が得られていますか。	75.5	73.2	71.7	73.4
	前期からの増減	1.9	0.8	↓-5.3	-1.0
13	いじめや差別など、人権にかかわる話題について親子で話すことがありますか。	67.9	64.3	70.0	67.5
	前期からの増減	↑5.6	-2.4	↑7.7	3.8
14	本校の施設・設備は、充実していると思われませんか。	75.5	63.6	56.7	64.9
	前期からの増減	1.9	↓-6.6	↓-8.9	-4.7
15	前日のうちに宿題を済ませ、授業に必要なものを準備していましたか。	56.6	64.3	63.3	61.5
	前期からの増減	-3.8	↓-5.9	-1.7	-3.8
16	自分の個性や興味・関心を生かした進路の選択をしようとしていると思われませんか。	50.9	58.9	71.7	60.9
	前期からの増減	-2.9	↑6.3	↑12.7	↑5.6
17	定期テストに向け、計画的に学習していましたか。	61.5	57.1	58.3	58.9
	前期からの増減	↑7.5	↓-4.3	4.2	2.5
18	自分の将来の夢や目標を持っていると思われませんか。	49.1	51.8	55.0	52.1
	前期からの増減	↓-9.4	0.9	2.5	-1.7
19	将来のために学習の大切さがわかり、意欲的に学習に取り組んでいますか。	47.2	51.8	55.0	51.5
	前期からの増減	↓-11.3	0.9	0.0	-3.2
20	きまった時間に学習に取り組んでいましたか。	54.7	46.4	53.3	51.5
	前期からの増減	-1.9	↓-9.7	-2.4	-4.6
21	お子様はご家庭で、家事の分担を担っていますか。	47.2	55.4	50.0	50.9
	前期からの増減	3.8	1.0	↑7.4	4.1
22	お子様は、現時点で、計画的な学習習慣が身についていると思われませんか。	50.9	50.0	46.7	49.1
	前期からの増減	-3.8	↓-12.1	↓-7.4	↓-7.9
23	毎日70分以上(1年)・80分以上(2年)・90分以上(3年)の家庭学習をしていましたか。	41.5	44.6	38.3	41.4
	前期からの増減	↓-7.6	0.7	-2.7	-3.0

生徒のアンケートより、係や当番活動での協力や助け合い、生徒会の活動への参加など、集団とのかかわりで、仲間と協力しながら自分の役割を果たすことについての評価が特に高くなっています。

また、「雄志授業スタイル（学びの心得7箇条）を、実践できた」とする生徒の割合が、前期よりもさらに多くなりました。後期には、生徒会が中心となって「授業態度向上運動」の取組を行うなど、授業に対する姿勢が向上しつつあります。一方、定期テストに対する計画的な取組や家庭での学習時間などは、3年生で一部改善が見られたものの、全体として低い評価となっています。これは、保護者アンケートの結果とも一致しています。

保護者のアンケートでは、学校の教育目標や実現に向けた取組や職員の姿勢におおむね高い評価をいただきました。また、学校からの生徒の学校での様子や進路に関する情報の提供について、前期よりも評価が向上しました。しかし、自分の将来の夢や希望をもって進路について考えを深めたり、将来のために学習に真剣に取り組んだりすることについては評価が低くなっています。

【Web配信問題解答の状況】

		* 数値は正答数(10問中)			は県平均を上回った生徒が50%以上					
		1 年			2 年			3 年		
7.6		国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語
5月	雄志中	6.9	7.5	7.6	7.4	6.1	5.1	8.1	7.4	6.1
	新潟県	7.1	7.4	*	7.6	6.3	6.2	8.1	7.2	6.8
	県平均との比較	-0.2	0.1	*	-0.2	-0.2	-1.1	0	0.2	-0.7
	県平均を上回った割合	40.4	55.8	*	56.9	49.2	40.4	58.3	60	48.3
6月	雄志中	6.8	7.3	7.4	6.8	6	5.7	7.5	5.9	4.6
	新潟県	6.8	7.5	*	6.9	6.4	6.9	7.2	7.2	5.9
	県平均との比較	0	-0.2	*	-0.1	-0.4	-1.2	0.3	-1.3	-1.3
	県平均を上回った割合	59.6	55.8	*	63.8	50	42.4	60	38.3	43.3
7月	雄志中	9.1	6.6	7.6	7.8	5.7	5.3	8.1	6	5.4
	新潟県	6.8	7.5	*	7.9	6.1	6.3	7.8	6.6	6.8
	県平均との比較	2.3	-0.9	*	-0.1	-0.4	-1	0.3	-0.6	-1.4
	県平均を上回った割合	98.1	48.1	*	61.5	47.5	35.2	58.3	53.3	41
9月	雄志中	7.6	6.3	8.8	7.9	5.8	6.1	7.8	5.6	7.4
	新潟県	7.3	6.5	8.2	8.2	6.6	6.6	7.3	6.7	7.9
	県平均との比較	0.3	-0.2	0.6	-0.3	-0.8	-0.5	0.5	-1.1	-0.5
	県平均を上回った割合	58.7	52.8	64.5	52	43	43	65	41	55
10月	雄志中	7.4	7.2	7.4	7.2	6.6	5.6	8	6	7.1
	新潟県	7.2	6.8	7.6	7.3	6.5	6.5	7.8	6.4	8
	県平均との比較	0.2	0.4	-0.2	-0.1	0.1	-0.9	0.2	-0.4	-0.9
	県平均を上回った割合	60.7	66.5	60.5	51	56.2	38.8	70	55	51.7
11月	雄志中	7.3	6.7	5.9	7.6	5.3	7.2	8.8	5.4	6.4
	新潟県	7.4	6.7	6	8	5.5	7.4	8.1	6.2	7.4
	県平均との比較	-0.1	0	-0.1	-0.4	-0.2	-0.2	0.7	-0.8	-1
	県平均を上回った割合	52.8	60.6	62.7	61.5	45.8	56.3	71.7	43.3	37.2
12月	雄志中	8.7	6.3	6.5	8.2	6.6	5.4	8.1	6.5	6.3
	新潟県	8.6	6.6	6.4	8.2	6.7	6.2	7.8	6.2	7.2
	県平均との比較	0.1	-0.3	0.1	0	-0.1	-0.8	0.3	0.3	-0.9
	県平均を上回った割合	64.7	48.8	48.9	52.5	56.2	38.5	70	53.3	43.3
1月	雄志中	7.8	6.2	4.9	6.5	7.3	4.9	6.8	6.6	5.2
	新潟県	7.1	6	5.6	6.2	6.9	5.4	6.4	6.3	5.8
	県平均との比較	0.7	0.2	-0.7	0.3	0.4	-0.5	0.4	0.3	-0.6
	県平均を上回った割合	62.8	54.8	53.8	52.8	67.4	44	56.7	58.3	40

前期に比べ、目標である「県平均を上回る生徒が50%以上」を達成できた学年・教科が増えてきています。

【全国学力・学習状況調査の結果】

4月に行なわれた全国学力・学習状況調査（3年生のみ）の結果ですが、国語の平均はA問題（基礎・基本問題）で全国平均を少し上回り、B問題（応用・発展問題）で全国平均を少し下回りました。また、数学の平均はA問題はほぼ全国平均と同じで、B問題は全国平均を少し下回りました。

平成28年度 後期 保護者アンケート自由記述より

以下に保護者の皆様から寄せられたご意見とそれに対する回答を掲載いたします。

【学習指導】

- ・自主学習もよいと思いますが、ある程度家庭学習課題を出してほしい。宿題が少なくてびっくりしています。
- 教科からの週末課題や県のWeb配信テストの過去問題等の課題に加え、3学期より教務室前に設置した学習プリント棚から生徒が自由にもって行って家庭学習ができる取組も行っています。家庭での学習習慣が身に付くよう、今後も指導に力を入れていきます。
- ・苦手教科を自分から先生に聞くように話していますが、冬休みにできたら、そのような時間を作っていただけたらうれしいです。
- 夏季休業中の学習会の設定やテスト前の放課後学習会等の取組を行っています。冬休みについても今後検討いたします。
- ・子どもたちの集中力が持続しないのも原因だとは思いますが、教員の教え方、授業のやり方、進め方が聞いた話でしかありませんが、あまりほめられた内容ややり方でないと思われます。授業と関係のない話もたまにはいいと思いますが、子どもたちが、「またか」と思うようではどうかと思います。
- 教師自身も職員研修等で互いに授業評価をし合い、授業の改善に取り組んでいます。今後も反省を生かし、一層授業改善に取り組んでいきます。

【部活動】

- ・陸上部、水泳部、女子バスケットをつくってください。
- ・部活動の種類を増やして頂きたいです。現状ですと、選択肢が少なすぎて、子供達が悩みます。
- 部活動につきましては、生徒数、学級数の減少にともない、教職員数も減少することなどから、平成26年度より保護者や学校運営協議会委員も交えた「部活動検討委員会」を設置して検討を行いました。その結果、生徒や保護者にも説明して現在のような部活動の体制とさせていただきます。学校としても個々の子どもや保護者の願いを反映した部活動でありたいと考えますが、ぜひご理解いただきたいと思ひます。なお、クラブチーム等で学校以外の活動をしていて中体連主催の大会等に出場を希望する場合は、担当教職員をつけて大会に参加しています。（柔道、水泳等）

【安全】

- ・下校時、駐車場で車が行き交う中、車の前に飛び出して追いかけてこをしている生徒（1年生）がいたので、ホームルームで先生に指導していただいたにも関わらず、後日別の子が飛び出していた。何か起こってからでは遅い。命に関わることであり、加害者、被害者だけでなく、それを取り巻く方々にも辛い思いをさせてしまうということを、わかるまで学校と家庭とで教え込まなくてはならないと思ひました。飛び出しが直らないのであれば校内で待機という手段（保護者が迎えに行く）をとらざるを得ないのでしょうか。
- 安全にかかわることは繰り返し指導を行っていますが、家庭とも連絡をとりながら徹底するように指導を行っていきます。
- ・学校までの歩道の整備をしていただきたい。雪の時の歩道の除雪もしっかりしていただきたいです
- 学校として、市教育委員会を通じて市へ要望していきます。

【情報提供】

- ・まだ1年生だからかもしれませんが、進路などの情報の提供・相談などが適切かどうかわかりません。
- ・行事の様子は学校だよりで知ることが出来ますが、授業の様子はわかりません。参観日だけでなく、普段の様子も知りたいです。
- ・子どもがたより等を出さない。家庭学習は1学期は頑張っている姿を見たが、それ以降見ていない…。声かけはするが、意欲的に行わない。
- ・子どもからの情報だけでは不足していると感じる。たよりも見せないこともあるため、先生方から何を親

に伝えるべきか機会があったら、話をしてほしいです。

→各種たより、PTAメール、学年PTA等を通じて学校の様子や保護者に協力してほしいこと等が伝わるよう今後も繰り返し話していきます。

【学校と家庭の連携】

- ・子どものことで相談するということは親として悩んでいるから、家庭だけでは支え切れないから、学校にも協力してほしいからなのです。話し合いの場を設けたものの親の意見や考えは流されただけでなく誠意は全く感じとれませんでした。
 - ・こちらから学校へ電話連絡した内容が担当の先生に全く伝わっておらず1週間も経ってから確認の電話が来たことがあります。こういうことが1度ではなかったのに、先生方の連携がとれていないんだと感じました。1週間も連絡内容が伝わっていないのはどうかと思います。
- ご意見ありがとうございます。対応が遅れた点をお詫び申し上げます。保護者の皆様の思いを受け止め、学校と保護者がともに子どもを育てるという立場で、迅速に対応できるよう職員一同心掛けます。

【環境】

- ・校内にほこりが多いなと感じました。
- 清掃指導とともに、自分たちの使う場を清める心を育てる指導に力を入れていきます。

【生徒指導】

- ・子供同士のトラブルなど早めの対応をしていただきたい。
 - ・先生方が学校でどのように接しているかは正直分かりません。
- 学校生活に関するアンケートだけでなく、日ごろの生徒の様子に気を配り、生徒指導部が中心となって早めの情報交換や対応を行っています。
- 保護者にも指導の経過をお伝えするようにしていますが、より慎重、丁寧に対応していくようにいたします。

【アンケート】

- ・学校へ伺うことがあまりないため、選択肢に「どちらとも言えない」「わからない」「その他」があった方がいいと思う。実際の現場を見ていないのにアンケートされても、意味のあるものにはならないのではないだろうか。もし、見に行っても、それが真実である保証もないし、正当な判断がくだせる自信や経験もないので。
- 家庭でのお子さんの話や様子等から保護者の立場でお考えいただき、ご回答いただきたいと思います。どうしても判断できない項目につきましては無解答でも結構です。

【SNS】

- ・塾の時間に多く取られ、十分な睡眠時間を確保するのが難しい。スマホを通して、生徒たちのプライベート・プライバシーがかなり公になっているのが分かります。顔写真やタイムラインでの会話から、交友関係や好みまで分かっけてしまいます。何人かで撮った写真もありますが、了解を得てアップしているのでしょうか。トラブルの種がそこら中にばらまかれています。
- SNSにかかわっての人間関係のトラブルがどの中学校でも問題になっています。当校においてもラインやツイッター等でのやり取りが原因で人間関係のトラブルが発生しています。相手の顔が見えない、単純な言葉でのやり取りが誤解を生んだり、自分たちだけのやり取りのつもりが第三者が介入してトラブルに発展したりする場合があります。学校では、SNSのマナーや危険性について指導し、警察から専門家を招いて講演会を行なうなどしていますが、トラブルがなくなるのが現状です。機器を買い与える保護者の皆様にもしっかりと責任をもってください、ご家庭で使い方についてのルールを確認するとともに継続してチェックしていただきますようお願いいたします。

【その他】

- ・中学1年生の年度末（H26年度末）に地域の偉人の小冊子を作成したと思いますが、保護者への配布は予定されていますでしょうか。
- 現3年生が作成した地域の偉人を紹介した小冊子は、修学旅行で地域のPRとして京都で配付させていただきました。保護者へ配付の予定はありません。今後の活動で検討、配慮させていただきます。
- ・喜んで登校している事が何よりです。ありがとうございます。いい事も、グチもよく話してくれるので、学校生活を楽しくしていることがよく分かります。授業の様子、給食がおいしかった事、休み時間の事、話を聞いて、先生方の対応、御指導に感謝しています。あとわずかな中学校生活ですが、よろしく願います。

今後の教育活動の改善について

雄志中学校では、教育課程の中心にキャリア教育を据え、すべての教育活動のねらいと活動後の評価にキャリア教育の視点を取り入れています。平成26年度からは「自立」「共生」「創造」の3つのプログラムを構成し、職員がいずれかに所属して教育活動を進めています。

- ①「自立」…自分の将来に目標を持ち、主体的に学習に励む生徒（学習指導）
- ②「共生」…自己の役割と責任を自覚した言動を取れる生徒（特別活動、生徒指導）
- ③「創造」…社会や地域の発展に寄与しようとする生徒（道徳、総合的な学習の時間）

それぞれのプログラムで目標値を設定して教育活動の評価を行っています。学校評価について、この3つのプログラムの部会で分析と改善策について検討し、職員全員で共通理解して取組を進めています。以下に3つのプロジェクトによる後期学校評価の分析と改善策を示します。

自立プロジェクト

① 学年目標時間(1年70分、2年80分、3年90分)以上家庭学習に取り組む生徒を80%以上にする 分析結果

◆生徒の肯定的評価の割合…1年75.5%→67.9%、2年80.7%→75.4%、3年72.1%→67.2%

全校 76.0% → 70.2% ×

◆保護者肯定的評価の割合…1年49.1%→41.5%、2年43.9%→44.6%、3年41.0%→38.3%

全校 44.4% → 41.4%

- ・達成は1学級のみ。前期よりも肯定的評価が下落。
- ・「日々の帰宅後の学習予定立案」に加え、2学期からは「翌週の見通しを持たせる工夫」「週末課題の配付」「学習の意義に関する学活授業の実施」「全校体制で家庭学習指導」を実施。しかし成果を上げることができなかった。

改善策

◆学習プリント棚の設置 →家庭学習としての活用を促す。

※活用したくなる工夫（授業での紹介、インデックスの工夫、キャッチコピー、タイトルを棚の手前に）

※定期的入れ替えを→生徒に分かる工夫（「NEW!」などのpop表示等）

※取組の目安時間を記載(プリント上部)→1枚やって終わりにさせない

※発展問題も準備する

- ・学習計画指導の継続 →日々のデイリーライフへの帰宅後学習予定記入を確実に。
→週末&翌週の家庭学習計画を立案（デイリーライフの週予定に）

② 定期テストに向けて計画的に学習に取り組む生徒を80%以上にする 分析結果

◆生徒の肯定的評価の割合…1年74.1%→67.9%、2年84.2%→77.2%、3年59.0%→73.8%

全校 72.1% → 73.1% ×

◆保護者肯定的評価の割合…1年54.0%→61.5%、2年61.4%→57.1%、3年54.1%→58.3%

全校 56.4% → 58.9%

- ・達成は1学級のみ。全体的な生徒の肯定的評価は若干向上。
- ・保護者の肯定的評価も若干向上。

改善策

◆家庭学習&テスト前学習の充実に向けて…5教科ワーク課題の「宿題」化

→テスト2週間前にはワーク等1回が終了している状態を目指す。

・テスト課題となるワーク等を、日常の宿題としてこまめに提示。

・1日の家庭学習のできる量（多く出しすぎない）。→自主勉の一部として提出可。

③ 雄志授業スタイルを実践できた生徒を80%以上にする

分析結果

◆生徒の肯定的評価の割合…1年87.0%→92.5%、2年84.2%→86.0%、3年73.8%→85.2%

全校 81.4% → 87.7% ○

- ・生徒会活動と連携しながら、生徒の意識向上を図る取組を実践できた。

<p>・教師の「雄志授業スタイル」を徹底させる意識が、まだ十分とは言えない。</p>
<p>改善策</p> <p>・今後も、生徒主体の活動を継続的に仕組んでいく。</p>
<p>④ 授業が分かりやすい・分かるとする生徒を90%以上にする</p> <p>分析結果</p> <p>◆生徒の肯定的評価の割合…全教科平均で 95.9% → 96.9% ○ (昨年度後期 94.5%)。</p> <p>◆「とてもよく分かる」80.1%→78.4% (昨年度後期 72.2%) に下がった。</p>
<p>改善策</p> <p>・ほめる授業、認める授業の実践継続→誰にでも分かる・できる授業づくり</p> <p>・教師の「雄志授業スタイル～教えの心得～」を意識した授業実践の継続。</p>
<p>⑤ Web配信問題では、正答率で県平均を超える生徒を50%以上にする</p> <p>分析結果(9月～12月のテスト)</p> <p>◆1 学年目標達成回数…4回/6回中 (達成率 66.7%) →10回/12回中 (達成率 83.3%) ○</p> <p>◆2 学年目標達成回数…4回/9回中 (達成率 44.4%) →7回/12回中 (達成率 58.3%) ○</p> <p>◆3 学年目標達成回数…5回/9回中 (達成率 55.6%) →8回/12回中 (達成率 66.7%) ○</p> <p>・前期達成率 58.3%→後期達成率 69.4%</p> <p>・2学期から週末課題として、毎週過去問題を配付。</p>
<p>改善策</p> <p>◆学力向上に向けて…「Web 学習ウィーク(仮)」の実施 →Web テストと併せ年間計画に記載</p> <p style="text-align: center;">※朝の集会は原則として計画しない。</p> <p>◇(例)月～水…前年度過去問の実施(朝読書の時間)</p> <p>◇(例)木・金…全校朝学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webテスト前週の2日間。8:25～8:55の30分間。 ※朝学活 8:15～8:25 (朝読書なし)、午前短縮授業 (1限 9:00 開始) ・基礎学力向上を目指し、習熟度別2コースで実施。 ○基礎コース <ul style="list-style-type: none"> ・数学と英語を1回ずつ、過去問題、サポート問題等に取り組む。 ・数英教員を中心に、全校体制で指導にあたる。(下表参照) ○一般コース <ul style="list-style-type: none"> ・自教室にて自習。学年教師1名が2クラスを巡回指導。 ・1回につき3教科分の過去問題・サポート問題に取り組む。 <p style="text-align: center;">※2回で2年分の問題に取り組む。→週末課題の廃止(朝読書時の過去問は実施)</p>

学習タイム 基礎コース指導体制(例)

	月	火	水	木	金
1年	過去問 国語	過去問 数学	過去問 英語	英語(学習室1)	数学(学習室1)
				英語科・1年部	数学科・1年部
2年				英語(学習室2)	数学(図書室)
				英語科・2年部	数学科・2年部
3年				数学(図書室)	英語(学習室2)
				数学科・3年部	英語科・3年部

共生プロジェクト

<p>① 自他を大切に互いに意見を伝え合うことができる生徒を80%以上にする。</p> <p>分析結果</p> <p>・全ての学級で80%以上の肯定的評価を得た。全校で94.1%。(前期比-0.1%)</p> <p>・創造Pとの連携により、同和教育を基盤とした人権教育を全校体制で行った。(共生はいじめ見逃しゼロ活動)</p> <p>・体育祭、音楽祭で生徒が一体感を感じられたと感想をアンケートに記入したことが肯定的評価につながったと考える。</p> <p>・全校統一のテーマでいじめ見逃しゼロのための話し合いを縦割り班で行い、宣言文を作ったことも肯定的評価につ</p>

ながつたと考える。

改善策

ア：職員で共通理解を図りながら、個別で生徒への支援の実践を継続する。

イ：言葉遣いについて保護者と連携し、家庭でも意識してもらうよう、たより等での働きかけを継続する。

② 係活動や給食当番、清掃活動で、助け合い、協力できる生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・全ての学級で80%以上の肯定的評価を得た。全校で98.8%。(前期比+1.1%)
- ・縦割り清掃により、異年齢集団の中で助け合い、協力しようとする意識が高まった。
- ・学級内の係活動の活性化(担任によるリーダーシップ)と、日直の役割の定着(担任との朝の打ち合わせ・日誌による振り返り・努力目標の設定など)が功を奏したと考えられる。
- ・日常生活で、連帯感を感じられるための話し合い活動を行う機会が少なかった。(来年度への課題)

改善策

ア：「よりよい日常生活」を実現するために、統一のテーマで話し合い活動を定期的に仕組んでいく。

＜学活統一テーマ＞

1学期 ・わくわく活動へ向けて集団作り ・いじめ見逃しゼロのための学級行動目標作り

2学期 ・体育祭振り返り ・音楽祭振り返り ・いじめ見逃しゼロ行動目標振り返り

3学期 ・進級、進学へ向けての心構え

＜班長会統一テーマ＞

2学期 ・授業態度向上運動(定期テスト②と③の前)

イ：朝、日直生徒と担任の打ち合わせや、目標設定と振り返りの確認を全学級で実施する。

③ 生徒会目標達成に向けて実践できる生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・全ての学級で80%以上の肯定的評価を得た。全校で94.1%。(前期比-0.1%)
- ・生徒会目標を折にふれて掲示したり、振り返ったりする場が必要だった。
- ・各委員会がそれぞれの活動をより良くするための時間確保ができなかった。

改善策

ア：年間行事計画において、あらかじめ専門委員会、学級優先の時間を設定し、確保する。

イ：委員長の活動方針及び顧問の委員会運営方針(働きかけ)の中でも、活動の活性化を図る工夫をしていく。また、振り返りのアンケートを確実に実施していく。

④ 日常生活や学校行事を通して、集団の一員として、仲間と連帯感を高めることができる生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・全ての学級で80%以上の肯定的評価を得た。全校で96.5%。(前期比+1.2%)
- ・1つの活動での生徒による振り返りの声から、次の活動の企画・運営につながった。(体育祭全校パフォーマンス⇒音楽祭全校合唱 代議員会意見⇒全校学活)
- ・「みんなで成功させよう！」という雰囲気醸成されたことが肯定的評価につながったと考える。
- ・行事ごとの生徒同士による認め合い活動が成果につながった。

改善策

ア：体育祭の躍動した体験から、元気のある大きな挨拶へ、音楽祭の一体感から張りのある校歌合唱の歌声へとつながられるような取組を仕組む。さらにリーダーが仲間呼び掛けられるよう、指導する。

イ：学年・学級を越え、認め合う活動を仕組み、生徒が生徒の言葉で認められる活動を継続的に仕組む。

⑤ 地域の一員として、地域行事や奉仕活動に参加する生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・6学級のうち4学級で80%以上の肯定的評価を得た。全校では78.4%。(前期比+0.5)
- ・まちづくりワークショップを主体とした、がんばり遠足でのゴミ拾い活動が地域貢献活動につながり、生徒の意識が高まった。
- ・各地域で実行した奉仕活動の生徒感想をもっと広く大きく発信する必要がある。

改善策

ア：夏休み中の奉仕活動における生徒の感想を大きく広く発信する。さらに、地域の方からの声(生徒の働きに対する評価)を生徒に返す工夫をする。

イ：部活動の対外的な練習・大会予定と地域行事の日程調整が必要である。

創造プロジェクト

①総合的な学習の時間で学んだことや体験したことを通して自分の生き方について考えを深めることができた生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・前期に比べ肯定的評価は2.4ポイント減少したが、全校では83.6%で目標値を越えた。
- ・3年生は2学級とも目標値の80%を超えている。進路に関する学習や地域貢献活動を通して、自分自身の生き方や今後の進路について真剣に考えることができたためと考えられる。
- ・1・2年生は、前期は職業調べや職場体験活動など、具体的に職業に関する学習が中心であったため自分の将来や生き方と結び付けやすかったと考えられる。しかし、後期は偉人学習や修学旅行に向けての学習内容が、自分自身の生き方と直接関連付けられなかった生徒がいたのではないかと考えられる。

改善策

- ・総合的な学習の時間において学習する全ての内容が、キャリア教育の視点と関連していることを生徒が意識できるよう、手立てを工夫し指導にあたっていく。
- ・総合的な学習の時間における学習のねらいを明確に提示し、キャリア教育の視点において生徒がその学びについて振り返る場面を確実に設定していく。
- ・総合的な学習の時間を通して学んだことを自分のこととして考えたり行動したりできるよう、実生活と結びつく学習活動を工夫し、設定する。

②体験活動を通して地域や社会のために貢献できた生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・10 「体験活動（授業や行事を含む）を通して、気付いたことや考えたことを日常生活にいかすよう心掛けた。」というアンケート項目において、肯定的評価は前期に比べ+0.5ポイントの86.5%で、目標値を越えた。
- ・14 「体験活動や地域貢献活動を通して、地域や社会と積極的に関わることができた。」というアンケート項目において、全学級が目標値に達し、全校で肯定的評価は88.9%であった。
- ・全学級で目標値の80%を超えており、地域や社会と積極的に関わっていると感じている生徒が多い。

改善策

- ・生徒会や3年生の総合的な学習における地域貢献活動を継続しながら、全校生徒が自分の住んでいる地域や雄志中学校区全体の活動に関わる場を設定していく。さらに、それらの活動を通して、地域の方々と積極的に関わり、地域や社会の一員として自分自身に何ができるかを自ら考え、実行できる生徒を育てていきたい。
- ・まちづくりワークショップでの活動を全校生徒に周知する機会を増やし、生徒一人一人が自分の郷土を愛し、地域や社会のために何ができるかを考え、実行できるようにしていきたい。
- ・全校生徒が様々な場面で地域に貢献する活動ができるような機会を増やしていく。

③学習や体験活動、道徳で学んだことや考えたことを家族と語り合うことができる生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・肯定的評価は69.0%で目標値を越えることはできなかったが、前期に比べ1.0ポイント上昇した。
- ・全学級において、「あてはまらない」と答えた生徒が横ばい、もしくは減少している。
- ・保護者アンケート22 「いじめや差別など、人権にかかわる話題について親子で話すことがありますか。」において肯定的評価は67.5%で前期に比べ、3.8ポイント上昇した。
- ・2学期は人権強調週間において、同和学習や同和教育講演会を実施した。その際、使用したワークシートを家庭に持ち帰り、保護者からコメントを記入してもらうことにより必然的に授業や講演会の内容について親子で話をする機会が増えたと考えられる。

改善策

- ・道徳の時間に使用したワークシートの持ち帰りや保護者のコメント記入を継続していく。その際、生徒自身が道徳の時間で学んだことや考えたことを自分自身の言葉で伝えられるよう働きかけていく。また、道徳の時間に使用した資料も合わせて持ち帰り、保護者の方にも読んでもらうことで親子の会話がより深まるようにする。
- ・学校での道徳の時間の学習、そして家庭での話し合いを経て、最終的に生徒が感じたことや考えたことを記入する欄をワークシートの最後に設ける。
- ・保護者の方の負担にならないように持ち帰るワークシートが重ならないように配慮する。
- ・学校・学年・学級便りなどを通して、学校の教育活動を積極的に発信し、保護者の方に生徒の様子を知ってもら

うとともに、親子の会話のきっかけを提供していく。

④日常生活において自己的人権を守るとともに、他の人権を守るために、よく考え、判断して行動するよう心掛けた生徒を80%以上にする。

分析結果

- ・前期に比べ、+1.8ポイントで肯定的評価は94.2%であった。
- ・前期同様、全学級で目標値の80%を超えた。
- ・2学期は人権強調週間を設け同和学习や同和教育講演会を実施したり、生徒会の「いじめ見逃しゼロスクール運動」の様々な取組があったりと人権について考える機会が多かったことがこの結果につながったと考えられる。しかし、日常生活において、一部の生徒に他の人権を尊重して行動しているとは言えないような言動も見られる。

改善策

- ・引き続き、日常生活において「自分も相手も大切にする」という視点を大切に、全ての教育活動で全職員が共通理解しながら指導にあたっていく。
- ・共生プロと連携し、2学期に生徒会で作成した「いじめ見逃しゼロスクール宣言」を生かしながら、生徒が日常生活において仲間を思いやった言動がとれるよう働きかけていく。
- ・来年度は、6月と11月に人権強調週間を設定し、それに合わせて同和学习を実施する。

[学校運営協議会での質問・意見より]

2月2日(火)に第3回学校運営協議会が開かれました。学校評価の結果と3つのプログラムの報告についてご意見等をいただきましたので、主なものを紹介します。

- ・家庭での学習時間の評価が、生徒と保護者で差が大きい。学習をしている姿が確認できないのではないか。リビングなど家族のいる所で学習すると成果が上がるという話もあるが、本人が集中できる所で良いのではないか。
- ・学習時間の目標の設定の基準は？→中学校区で小学校とも連携して全体で基準を設けています。
- ・学習の状況についてはアンケート結果よりもWeb配信テスト等の結果で十分である。
- ・自主的な学習プリントの取組は良いと思う。「できた」という目に見える成果がやる気につながるように工夫してほしい。
- ・世間ではSNS関連のいじめやトラブルが多いと聞いている。子どもたちにしっかりと指導してほしい。
- ・授業を参観したが、みんな真面目に楽しそうにやっていた。学年、教科によって生徒が眠そうな授業も見られた。→主体的に参加する授業を目指して全校体制で取り組みます。
- ・人権教育、同和教育で保護者から学習したことについてコメントをもらうという取組は、親子で一緒になって話し合うという機会にもつながり、良いと思う。

保護者の皆様や学校運営協議会の皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、教育活動の改善・充実に努めてまいります。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

また、保護者の皆様には1月に行なわれた体罰に関するアンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。生徒、保護者、職員ともに体罰に該当する内容はありませんでしたので、併せてご報告いたします。